

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2008-309952(P2008-309952A)

【公開日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2007-156523(P2007-156523)

【国際特許分類】

G 03 G 15/08 (2006.01)

G 03 G 15/02 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/08 501D

G 03 G 15/02 103

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月14日(2010.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面に乾式現像剤が固着した弾性ローラの再生方法であって、

(1) 清掃ブラシのブラシ部分を該弾性ローラの表面に対して乾式状態で接触させ、該  
ブラシ部分を高周波振動させることにより該乾式現像剤を該弾性ローラの表面から遊離さ  
せると共に該乾式現像剤を帯電させる工程、および

(2) 該弾性ローラの表面と、該弾性ローラの周囲に設置した集塵ローラの表面との間  
に電圧を印加し、該工程(1)により前記弾性ローラの表面から遊離し、かつ帶電された  
該乾式現像剤に電界をかけて、静電気力により該乾式現像剤を該集塵ローラに移動させ  
る工程、を有することを特徴とする弾性ローラの再生方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】弾性ローラの再生方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するため、本発明は、以下の構成を有することを特徴とする。

1. 表面に乾式現像剤が固着した弾性ローラの再生方法であって、

(1) 清掃ブラシのブラシ部分を該弾性ローラの表面に対して乾式状態で接触させ、該  
ブラシ部分を高周波振動させることにより該乾式現像剤を該弾性ローラの表面から遊離さ  
せると共に該乾式現像剤を帯電させる工程、および

(2) 該弾性ローラの表面と、該弾性ローラの周囲に設置した集塵ローラの表面との間

に電圧を印加し、該工程（1）により前記弹性ローラの表面から遊離し、かつ帶電された該乾式現像剤に電界をかけて、静電気力により該乾式現像剤を該集塵ローラに移動させる工程、を有することを特徴とする弹性ローラの再生方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】